みなさんの暮らしとつながっています。

19

はまだ議会だより mini

今号は大増量、視察特集！

市民と共に進む議会活性化

〇議会改革推進特別委員会
〇松江市、岡山県津山市、岡山県久米郡美咲町
〇１月17日（火）～１月18日（水）
《視察目的》
議会における政策立案機能をはじめとする議会機能の強化、ＩＣＴの活用と推進、議会と大学との連携について調査し、今後の取組に生かす。
【松江市】
政策立案及び政策提言能力の向上を目的として政策条例研究会を設置し、「松江市自転車安全利用条例」を制定されました。制定までのプロセスや内容は良くできており、市民には議会の存在感を示す取組になったと感じましたが、立案事実の明確化に係る作業など、かなりの労力があったようです。
【岡山県津山市】
市民アンケートで議会への関心の低さを認識され、市民に向けて知ってもらい、関心を持ってもらいたいと考え、導入したｉＰａｄを活用し、議場で撮影した動画を配信する「市議会スタジオ」を開始されました。再生回数が少ないのが課題で、より魅力的な内容の動画が必要なようです。議場での電子採決システムも導入しています。傍聴者や動画視聴者にも各議員の表決態度、賛否の数的状況が視覚的に明らかで、議会の公開性を高め、議員の政治的責任をより明確にすることができます。
【岡山県久米郡美咲町】
議員のなり手不足、若者の議会離れなどに議会として危機感を感じ、持続可能な議会を主眼に取組を進められています。美作大学・短期大学部との「ＳＤＧｓパートナーシップ包括協定連携事業」では、学生に「議会アンバサダー」委嘱をしています。また、中学生が町政への質問や提案を行う「子ども議会」も実施しています。今後当市議会でも、島根県立大学との連携の検討を進めます。

議員のつぶやき

水栓柱にも春が来た

この冬、我が家においても水栓柱の蛇口を厳重に保温し凍結防止。最近の温かさでチューリップも芽吹き、やっと蛇口の保温材を撤去。春が来たようだ！（川上幾雄）

議長日誌 1/29 新春ふれあい余芸大会　白浪５人男

３年ぶりの開催となった新春ふれあい余芸大会に白波５人男の日本駄右衛門役として出演しました。セリフも多く大変でしたが、他の出演者とも和気あいあいとした雰囲気で演じました。こういったイベントが帰ってきたことをうれしく思います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はＳＤＧｓを推進しています。

発行／2023年3月1日　発行者／浜田市議会（編集：議会広報広聴委員会）　〒697-8501 浜田市殿町1番地　0855-25-9800

はまだ議会だより mini

もうける地域商社に学ぶ

〇総務文教委員会
〇宮崎県新富町、宮崎県都農町、宮崎県延岡市
〇１月30日（月）～２月１日（水）

ふるさと寄附を５年間で50億円稼いでいる宮崎県新富町と、令和３年度に109億円稼いでいる同県都農町を視察しました。それぞれの町が全額出資をして、行政でもなく、指定管理者でもない「財団」という中間組織でもうけています。もうけた資金はさらに特産品の開発に充てることで収益につなげ、人材育成や地域の諸課題の解決にも財団が貢献しているので、設立に至った経緯や活動実績などについて調査しました。

新富町は、観光協会を発展的に解散して設立されています。町からの受託事業としてふるさと寄附の代行や観光促進等を展開しており、１粒千円のライチなど、ブランディング化や起業家育成に収益を再投資して成果につなげていました。このような町の取組は、企業からも評価を受け、企業版ふるさと納税の増加にもつなげ令和３年の実績は約２億２千万円とのことでした。

都農町の財団は産官学連携の中核組織として設立されています。デジタル化推進で多世代共生社会の実現や返礼品開発などで産業振興にも貢献しています。また、宮崎大学生の地域支援や地元中学生に対するキャリア教育など、多面的に町民へ還元していました。特に、デジタル推進事業は、防災や福祉、町の広報などさまざまな分野での活用が期待される実績例として勉強になりました。

財団設立に至った経緯や活動実績などについて調査を行いました。

最新の歴史展示施設に学ぶ

宮崎県北部に位置する延岡市は、延岡藩７万石の譜代大名内藤家の藩庁があった街です。人口は11万６千人で旭化成の企業城下町としても有名で、本丸跡を臨む西ノ丸跡に総事業費約37億円を投じて令和４年９月に開館して間もない延岡城・内藤記念博物館を視察しました。

主要施設である平常展示室は現在の浜田郷土資料館の約３．４倍と十分に確保され、企画展示室も国立博物館などの重要文化財を借用して展示ができるほどの調湿調光機能が整っています。展示解説も分かりやすく的確で、来場者への配慮が各所に感じられました。また、三つの収蔵庫の保管機能も充実し、貴重な歴史資料の収集・保存・活用の施設として学びが多かったです。

さらに、歴史的資産を感じる教育的機能や文化交流施設としての役割も有しており、集客ビジョンも明確で、機能性と堅牢性を持ち、環境負荷低減による維持管理も容易な設計は、歴史展示施設として手本となるレベルでした。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はＳＤＧｓを推進しています。

発行／2023年3月1日　発行者／浜田市議会（編集：議会広報広聴委員会）　〒697-8501 浜田市殿町1番地　0855-25-9800

はまだ議会だより mini

道の駅と陸上養殖

〇産業建設委員会
〇千葉県柏市、千葉県鎌ケ谷市、千葉県木更津市
〇１月31日（火）～２月２日（木）
当委員会では、浜田市の一次産業における問題点や課題を、従事または経営されている方との意見交換で掘り起こし、解決につながるヒントを探る活動を行っています。この活動の一環として、問題解決の参考とすべく千葉県の４事業を視察しました。また、農業・漁業産品販売の場とされている道の駅の運営に関し、タイムリーな話題として、公営民営の成功事例を視察し、道の駅ゆうひパーク浜田の今後に取り入れ可能なノウハウなどを学び、提案につなげることを目的としました。
視察先の概要と、委員による注目点を一部記載いたしますので全体を推察ください。

柏市　アグリビジネスパーク事業

アグリビジネスパーク事業は、第一次産業従事者の所得向上と産業振興を、道の駅（道の駅しょうなん）を中心に行っており、柏市が入り込み客数の増加を図るために農産品の直売所を併設したのが始まりで、年間入り込み客数の増加に対応するため、アグリビジネスパークとして再整備が行われています。

注目点　行政や関連団体（ＪＡ・ＪＦ・観光協会など）からの支援が重要。また、大屋根の下での直売所、併設する食堂の地元産野菜のサラダバーなど集客に対する工夫の大切さ。

木更津市　道の駅うまくたの里

気楽に立ち寄れる休憩場所として、農業振興や観光振興など地域活性化に貢献する新たな広域交流の場として、６次産業化を進め地域の豊かな自然環境や地域資源を活用したにぎやかな道の駅です。

注目点

入り込み客の多さは多様な交通環境にあり、地元住民も多く訪れる。
狭い空間を逆手に生かす工夫の大切さ。

木更津市　陸上養殖

㈱ＦＲＤジャパンは閉鎖循環式陸上養殖（バクテリアを活用した独自のろ過技術）でトラウトサーモンの養殖を行っている。

注目点　大きく四つのメリットがある（地球にやさしい、どこでもできる、冷却コスト不要、魚病リスクなし）。多額の投資とバックアップ体制が必要。

鎌ケ谷市　果樹剪定枝のたい肥化事業

この事業は、現地焼却処分時の煙による苦情対策として、集積粉砕により「炭化・たい肥化・バイオマス発電・糞尿吸着材事業」を行っています。

注目点　不要物のたい肥化は注目に値する。しかし、チップ化による火力発電への利用は、ＳＤＧｓの観点からも検討が必要。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はＳＤＧｓを推進しています。

発行／2023年3月1日　発行者／浜田市議会（編集：議会広報広聴委員会）　〒697-8501 浜田市殿町1番地　0855-25-9800

はまだ議会だより mini

テーマは障がい者支援

〇福祉環境委員会
〇岡山県総社市、大阪府東大阪市
〇２月13日（月）～２月14日（火）
当委員会では、取組課題のテーマを「就労支援を含めた障がい者支援」としています。この視察で学んだ取組を踏まえ、３月定例会議では委員会代表質問の席に立ちました。

障がい者千五百人雇用事業

「全国屈指の福祉先駆都市」を目指す総社市の保健福祉政策。障がい者雇用支援のきっかけはリーマンショックで市内で２千人以上が失職し、有効求人倍率は過去最低となりました。こんな時こそ支援すべきは障がい者として、平成23年から「障がい者千人雇用」を開始されました。
就労支援ルームをハローワーク総社に設置し、ハローワーク総社と「福祉から就労」支援協定を締結しています。市職員２名が常住し、生活困窮、外国者、ひとり親支援なども取組まれました。総社商工会議所と包括協定を締結し、会員企業に対し、助成制度の周知やセミナー開催、雇用意識調査、福祉的事業所の見学などを実施されました。平成23年12月には「障がい者千人雇用推進条例」を制定し、さまざまな政策を進められ、そして平成29年５月、「障がい者千人雇用」事業による就労者千人を達成されました。同年９月には「障がい者千五百人雇用」事業として再スタートしています。障がい者の生活の質の向上・県域への波及などを諮っています。

[ポイント]

・一つの目標を実現するために政策を立て、戦略を持って実行するＰＤＣＡサイクル
・関係機関、団体との連携・協働の有効性「三本の矢」で支援。「ハローワーク総社」、「障がい者千人雇用センター」、「総社市」の強い横の連携。

障がい児と障がい者を１か所で切れ目なく支援

東大阪市障害児者支援センター「レピラ」は、それまで別々だった療育センターと障害者センターを統合し、平成29年４月から市が施設を建設・設置して、指定管理者の社会福祉法人「東大阪市社会福祉事業団」に運営を委託しています。障害児者が一人の市民として地域で安心して豊かに暮らしていけるために支援をする施設です。
ライフステージに沿って子どもから大人まで「児者一貫」の切れ目のない支援を行うために相談、通園、通所、医療などを柱にしたさまざまな専門機能を備え、東大阪市における障害児者福祉の拠点として、幅広く障害福祉関係機関や病院、そして地域のネットワークの中核を担っています。障がいを早期に発見し早期療育につなげるため、診療と療育の充実、当事者や家族、支援者が安心して相談できる拠点としての役割があります。公民がともに連携し、時代にかなう地域福祉システムを創造し、「ノーマライゼーション東大阪」を目指しています。

[ポイント]

・プライマリ・ケア（身近にあって、何でも相談に乗ってくれる総合的な医療）を基本に、リハビリテーションを充実させ、重度障がい者の地域における在宅生活を支援
・基幹相談支援センターを設置し、ワンストップでの相談を心掛け、地域における中核としての機能、役割を果たす

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はＳＤＧｓを推進しています。

発行／2023年3月1日　発行者／浜田市議会（編集：議会広報広聴委員会）　〒697-8501 浜田市殿町1番地　0855-25-9800